

監査報告書

令和4年5月10日

学校法人日本福祉大学
理事会 御中
評議員会 御中

監事 後藤 三郎 

監事 上用 敏弘 

学校法人日本福祉大学の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）における業務および財産の状況について、私立学校法第37条第4項、学校法人日本福祉大学寄附行為第14条および監事監査規程に基づき監査を行ったので、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法

毎回の理事会、評議員会および執行役員会に出席し、理事等より業務執行状況について聴取しました。あわせて主な会議録・決算書類を閲覧しました。

監査計画においては、「学園ブランド力の向上に向けた広報政策の展望について」、「教学マネジメントの確立に向けたマネジメントサイクルの実施状況と課題について」、「教学改革の成果としての学生募集状況の課題について」を重点監査テーマとし、担当理事・関係責任者に状況を確認しました。

財務状況に関わっては、資金収支計算書をはじめとする決算諸表、財産目録および諸帳票について、担当理事より説明を受けるとともに、監査法人トーマツから監査の実施報告および説明を受け、計算書類等について検討を加えました。

2. 監査の結果

学校法人日本福祉大学の業務は適正に行われており、計算書類等は当該年度末の財産状況を適正に記録していることを認めます。

以上